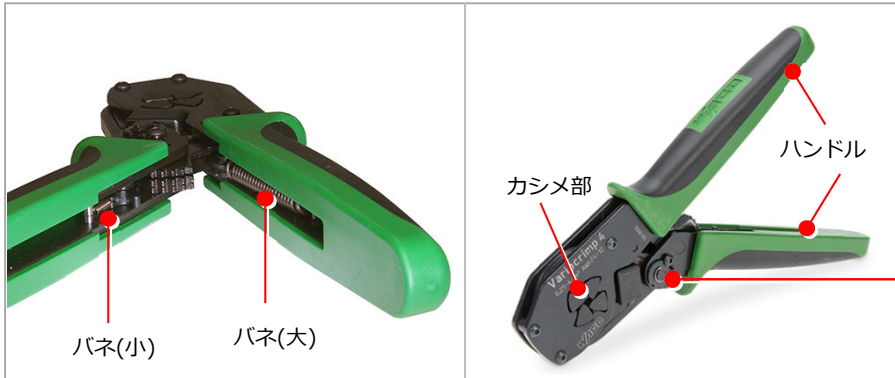


バリオクリンプ[®]取扱説明書

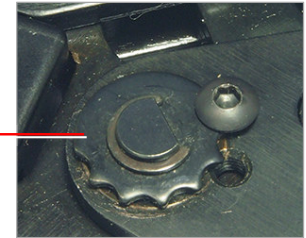
フェルール用圧着工具 バリオクリンプ 4 (206-1204)

■ 構造 端子台の構造および各部の名称



注意！

この部分の位置変更はしないでください。
変更すると圧着強度が低下する可能性があります。

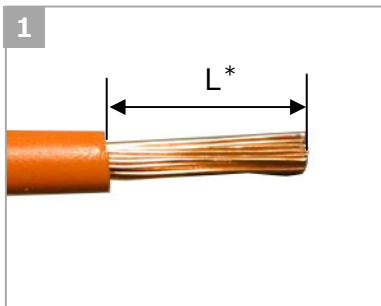


■ 圧着電線範囲

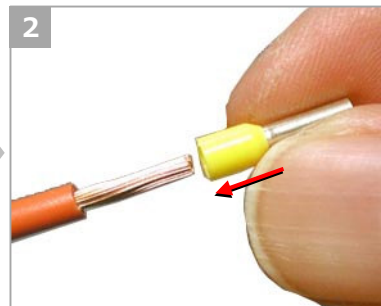
0.25~4mm²/ AWG 24~12

組み込まれた圧着調整装置によって、圧着圧力は使用電線の断面積に応じて自動的に調整されます。

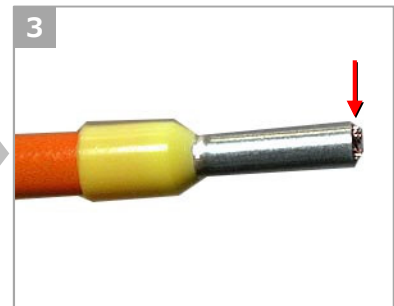
1. 圧着前準備 ※ 電線サイズに適合したフェルールを選定してください。



電線被覆むき
規定の長さ(L)*にむき出します。



フェルールの取り付け
電線むき出し部分に差し込み、突き当たるまで押し込みます。



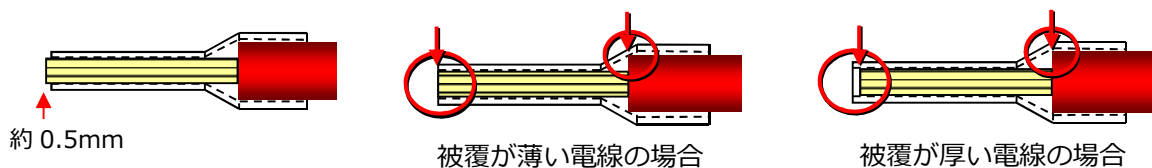
取り付け確認
フェルール金属部から電線の先端が少し出ているか確認(0.5mm程度)。

* 電線むき長さの調整

被覆を剥き出した電線は、フェルール内部のテーパ部に当たってストップしますので、電線の被覆厚さで芯線先端の位置は変わります。

実際のご使用の電線にて推奨むき長さから微調整してください。

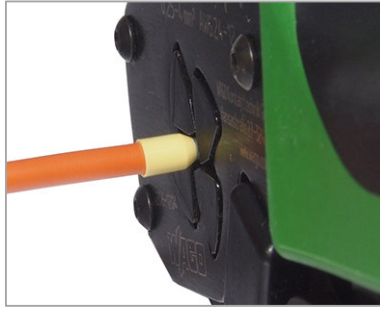
※フェルールの金属部分から芯線の先端が少し出る(0.5mm程度)ようにしてください。



2. 圧着作業



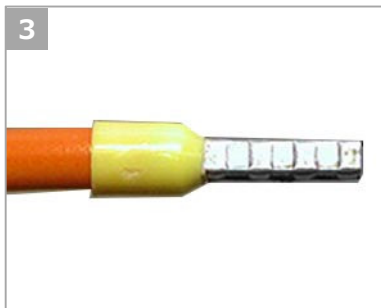
1
圧着工具かしめ部へ挿入
 バリオクリンプのかしめ部(角穴)にフェルールを差し込みます。



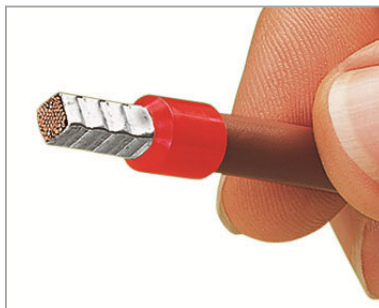
注意: 金属部が全部入るようにしてください。



2
圧着
 ハンドルを握り締めて圧着します。仕上がるとハンドルが開きます。



3
仕上がり確認
 フェルールを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。



電氣的にも機械的にも完全なガスタイト圧着です。
 (カタログに記載されたフェルール適合電線圧着時)

注意:
 同じ個所に複数回圧着を繰り返した場合、金属部の変形や裂けが発生する恐れがあります。

注意: 金属部が長く、1回で圧着出来ないフェルールは、**未圧着部分**の再圧着を行ってください。



金属の付け根までフェルールを差し込み、圧着します。



フェルールを捻らないようにスライドさせ、未圧着部分を圧着します。



※**金属部がまっすぐになるように圧着してください。**

※電線に装着したフェルールは、圧着工具のどちら側からでも圧着できます。(左利き/右利き両用)